

授業科目

看護教育学

担当教員名 中山 和美	対象学年	4	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	○	○	○	○

授業の概要

日本における看護教育の歴史を踏まえ、今日の看護教育制度の種類と特徴を比較検討する。また、看護教育の方法、評価など教育をめぐる項目の理解を深めるためのグループワークを行う。さらに継続教育について考察する。

授業の目的

1. 日本における看護教育の変遷がわかる。
2. 看護教育の方法、評価がわかる。
3. 継続教育の必要性を認識する。

学習目標

- 1 日本における看護教育の変遷が説明できる。
- 2 看護教育制度とその特徴が説明できる。
- 3 看護教育方法の種類と特徴をばらばらに評価について述べるができる。
- 4 継続教育の必要性が認識できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	日本における看護教育の変遷	講義	中山 和美
2	看護教育制度の種類と特徴	講義	中山 和美
3	看護教育方法	講義・グループ学習	中山 和美
4	看護教育方法	講義・グループ学習	中山 和美
5	看護教育評価	グループワーク	中山 和美
6	卒後教育・継続教育	講義・グループ学習	中山 和美
7	主体的に学ぶために	グループ学習・自己学習	中山 和美
8	まとめ	講義・質疑応答	中山 和美

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	看護教育学	杉森みど里	医学書院	2012年	5,040円	
その他の資料						

評価方法

レポート（70%）、ワークへの参加度・学習成果物（30%）で評価する。

履修上の留意点

積極的に参加・学習することを勧めます。

オフィスアワー・連絡先

メールにて予定を確認し、アポを取ってください。 nakayama@nuhw.ac.jp